

痔核と肛門内圧

肛門疾患領域は、良性疾患であるがためにエビデンスの蓄積が進んでいない。肛門疾患は良性疾患であるためこれまで研究されていなかった事が原因と考えられるが、排便への影響から生活の質に直結する疾患であるため重要な課題である。今後、肛門内圧と肛門疾患について研究する予定であり、特に肛門内圧と関連が報告されている肛門疾患は痔核であるため痔核と肛門内圧検査（肛門管静止圧及び ultra slow waves）について紹介する。

参考文献

- ・ Hancock BD, Smith K. The internal anal sphincter and Lord's procedure for haemorrhoids. Br J Surg. 1975;62:833—836.
- ・ Hancock BD. Measurement of anal pressure and motility. Gut. 1976 Aug 17(8):645-51.
- ・ 肛門疾患診療ガイドライン 2014
- ・ 渡邊賢治, 渡邊元治. 内痔核患者における肛門管最大静止圧の検討. 日本大腸肛門病学会雑誌(0047-1801)62 巻 3 号(2009.3):page160-164.